

よつば小学校の 施設整備の特色

設計基本方針

- ▽児童一人ひとりの主体的な学びの活動が広がる学校
- ▽出会いや発見が学びにつながる、充実して過ごせる学校
- ▽学校の中もまちななか、みんなが学び、活動できる学校
- ▽統合校区の伝統・特色をみんなで育て未来につなげる学校

「よつば小学校」 「寺方小・南小学校統合校」 の設計が完了



市教育委員会では、児童数の減少による学校の小規模化および施設の老朽化を解消し、子どもたちがさまざまな学習を行える学びの場として、また、安全性の高いより良い教育環境を整えるため統合を進めています。

このたび、旧東小学校と旧大久保小学校の統合校である「よつば小学校」と「寺方小・南小学校統合校」の新校舎の設計が完了しましたので紹介します。

図 学校管理課
06・69998・3338

寺方小・南小学校 統合校の 施設整備の特色

設計基本方針

- ▽よく学び、学習の充実を図ることのできる学校づくり
- ▽よく遊び、生活の場として、楽しんでいける学校づくり
- ▽違いを認め合い、豊かな心を育む学校づくり
- ▽安全に配慮し、近隣のまち並みと調和のとれた学校づくり

設計コンセプト

- ◆緩やかにつながる「クラスター型」レイアウト
- ▽学年ごとにまとまりのある教室配置(クラスター型)。
- ▽教室で一日中過ごすことの多い低学年、興味を広げる中学年、応用を鍛える高学年まで、それぞれの成長段階に対応した特色のあるクラスター。
- ◆学びのカタチを広げるオープンスペース
- ▽普通教室とオープンスペースの間仕切りを可動式とし、一体利用も可能。
- ▽個別学習ができる場、グループで遊べる場、楽器展示保管庫などが置かれた場など、さまざまな場所を作り児童の学習意欲を誘導。
- ◆学校全体が学びの場
- ▽「メディアセンター」は、自ら調べ答えを探す、学びのための拠点。
- ▽気軽に相談などができる「先生コーナー」、児童のための隠れ家的穴ぐら「デン」など小さな空間を設置。
- ▽外の教室や創作テラスなど積極的に屋外で活動可能。
- ▽各学年クラスターに面した特別教室を配置。
- ▽理科の実験器具、図工作品、楽器などに、いつでも目に触れて学習意欲を刺激。

◆学びの空間を立体的につなげる「アクティブステップ」

- ▽上下の階をつなぐスキップフロア形式の空間。
- ▽各階に視線・導線が通り、奥の活動の様子も感じ取ることができ、学習意欲を誘う空間。
- ▽アクティブステップにより全ての階がつながりを持ち、学校全体が一つのクラスのように学年の垣根を越えたつながりを持つことができる空間。
- ◆地域と学校をつなぐ空間づくり
- ▽地域と学校をつなぐ拠点として利用できる「まちなかサロンの」。
- ▽現・よつば小学校の郷土資料館を受け継ぎ、新しいよつば校区の営みを学べる場。
- ▽有事に備え、備蓄倉庫や非常発電設備、マンホールトイレを設置。
- ▽校舎とグラウンド下に洪水対策の雨水槽を設置。



メディアセンター(イメージ図)

- ◆配置計画
- 1. 高さを抑えた校舎
- ▽周囲に与える影響を抑えること

- ともに、上下移動が少なく使いやすい3階建校舎。
- ▽校舎の外形は細分化し、凸凹のある豊かな表情を作ること、まちとの調和を図る。
- 2. 周辺環境の変化を最小限に抑える校舎
- ▽旧大久保小学校と同様の校舎配置。
- ▽北東側に校舎、南側にグラウンドを配置。
- 3. 安全・安心な通路
- ▽旧東小学校区からの通路を考慮し、南側に正門を設置。
- ▽正門前に緑豊かなアプローチ空間。
- ▽登校を迎える位置に職員室を配置。
- ▽旧大久保小学校正門の位置

◆設計コンセプト

- ◆学校の中心となる吹き抜け空間でさまざまな学びと出会う
- ▽建物の中心に吹き抜け空間を設け、吹き抜け内の大階段によって各階にアクセスできる構成。
- ▽1階吹き抜けホールには、掲示板やガラス張りの放送室など、学校生活が楽しくなる仕掛けを設置。
- ▽1階吹き抜けホールは、隣接する多目的室と一体利用も可能。
- ▽全児童が日常使用する吹き抜け空間を中心に、普通教室群

と特別教室群を隣接配置した明快な構成。

- ▽吹き抜け空間に面してメディアセンターやデン、ギャラリーなどの空間を配置させることで多様な学びに出会うきっかけづくり。
- ◆学びを身近に散りばめ、それぞれの空間が特徴づけられるよう、変化に富んだ計画やデザインを実施。
- 1. 展示コーナーが各所に設けられた施設計画
- ▽児童の学習成果を発表する展示コーナーを、日常的に触れ合える学校の各所に設置。
- 2. 変化に富んだ学びの場を展開
- ▽各学年エリアに設けられた調べものコーナー、特別教室の学習交流スペースなど児童の身近な場所に、普通教室以外でも多様な学びの場を計画。
- 3. 学びを手助けする職員室
- ▽職員室は吹き抜けホールに面して開かれた構成とすることで、児童が気軽に訪



吹き抜けホール(イメージ図)

- 2. 運動場が最も広がる屋外
- ▽運動場が短縮され、どの教室にも行きやすい機能的な校舎を実現。



空間

- ▽校舎南東側・運動場西側配置を採用し、認定ごも園との連携もしやすく、地域への日影に配慮した配置。
- ▽トラック内は人工芝、その周囲は天然芝とします。

今後は、平成30年4月の開校を目指し、平成28年6月に施工業者と仮契約を締結し、守口市議会6月定例会で議決を得て、校舎新築工事に着手します。地域住民・保護者の皆様のご協力をよろしくお願ひします。



- 4. 豊かな屋外空間
- ▽グラウンドは人工芝、その周囲の校庭を天然芝とし、緑いっぱい環境にも優しい学校。
- ▽花壇、菜園、果樹林など、学びにも役立つ緑地作り。